

令和3年(2021年)1月15日(金)
オンラインシンポジウム
～図書館でつながる新たな可能性～

豊中市（仮称）中央図書館基本構想 素案について

豊中市教育委員会事務局
読書振興課

豊中市（仮称）中央図書館基本構想 策定の背景

2

社会変化に伴う将来的なニーズへの対応

- 多様化する図書館ニーズへの対応
（貸出や保存、調査相談に加え、新たな図書館の魅力の創出）
- 今年度、豊中市では『デジタル・ガバメント宣言』を発出
（デジタル化社会を見据えた図書館サービスが必要）



財政状況を踏まえた施設の老朽化対策

- 厳しい財政状況
（社会保障経費の増大や「コロナ危機」の影響）
- 各図書館の老朽化対策
（岡町図書館は築50年を超える）



これまで築いてきた豊中市立図書館の良さを活かしつつ、
ソフト・ハード両側面における**将来を見据えた方針**が必要

参加者の皆さんにとって、図書館とは？

情報源として	● 書店やインターネットにない書籍・情報を得られる場所 ● 頭の一部、職場であり生活の一部 ● （論文の執筆なども行っているの）書きものの場所
知の拠点として	● 知的好奇心を満たしてくれる装置の一つ ● 学びの場 ● 想像力（創造力）をふくらませる場所
市民の味方	● （自宅の本の収納スペースが限られている中で）ありがたい存在 ● 今後、欲しい本をいち早く無料で手にできる場になってほしい ● 民主主義・公平性のバロメーター ● 学生の味方
活動の場 ともに歩む場	● 利用するだけでなく、ともに育ち、ともに歩む場所 ● 地域住民にとっての居場所、ボランティアの活動の場、楽しい出会いの場 ● 個・私をつくる場所



これからの図書館についてのアイデア

幅広い人に 便利に	● 公共施設は働いている層が利用しづらい場合も多い ● 利便性を高め、広く図書館サービスを利用できる仕組みが必要 ● 多様な市民がアクセスしやすい施設とするための工夫を ● 人が多く集まる場所で資料の受取や返却を
利用の きっかけづくり	● オープンスペースを活用した交流イベント等の実施 ● 興味・関心を引く講座の開催 ● SNSをはじめとするインターネットでの広報活動
デジタル化 社会の図書館	● 情報リテラシー支援が重要 ● デジタル化に対応できない人をいかにして支援するか ● 資料のデジタル化や申請等のペーパーレス化で便利に効率的に ● イベントのオンライン配信
これからの 施設	● 複合施設では、施設全体のテーマに沿った蔵書を構築 ● 地域に根差した図書館サービスという特長を活かす工夫を ● 人材をどのように配置するかにも工夫が必要



豊中市立図書館の基本コンセプト

つながる。わたしの図書館で。

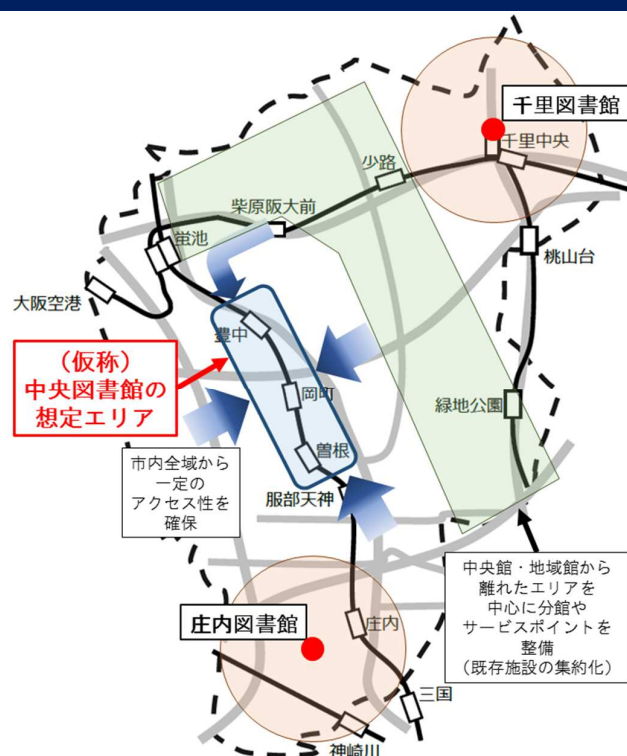
市民のニーズや抱える課題が多様化・複雑化している今、
 図書館は「つながる」という機能を大切にしたいと考えています。
 知や情報、本と人をつなげる。人と人、地域や組織がつながる。過去と今、そして未来をつなぐ。
 つながることで新しい可能性をひらき、暮らしをより豊かにする。
 そして、明日のとよなかへつながる種をまく。
 誰もが、自分なりに使い、楽しみ、つながる図書館へ。
 豊中市立図書館は、すべての人の「わたしの図書館」であることをめざします。

3つの基本方針

- (基本方針1) すべての市民の「わたしの図書館」へ ～図書館の多様な利用を提案～
 (基本方針2) 知や情報とつながる ～資源を生かし、市民の情報アクセスを保障～
 (基本方針3) 未来へつなぐ ～持続可能な組織の構築～

(仮称) 中央図書館を中心とした新たな図書館網

位置付け	施設数・配置	想定規模	機能
中央館	豊中駅～曽根駅の徒歩圏内	5,000㎡程度	●あらゆるサービスの中心 ●書庫機能 ●選書・保存の一元化
地域館	庄内・千里の2施設	庄内 1,000㎡程度(専有部) 千里 2,379㎡(共用部含)	●中央館に準ずる機能 ●地域特性に沿った蔵書とサービス
分館	中央館・地域館を補完(数施設)	各500㎡程度	●身近な本と親しむ空間 ●汎用性の高い資料を中心に所蔵
サービスポイント	①利便性の高い場所 ②他の図書館から離れた場所に設置	各50㎡程度	●予約資料の受取・返却に特化



取組み① デジタル化社会への対応

7

豊中市立図書館
Toyonaka City Library

サイトマップ / 目や身体の不自由な方へ / Foreign language

よくある質問 / 音声読み上げ / Multilingual / 文字サイズ 小 中 大

館内にとどまるサービスなどを一部制限して開催しています。ご理解いただきますようお願いいたします。

トップページに戻る > e-レファレンス

利用案内

- 各図書館のご案内
- 図書館の使い方
- Foreign language (がいこくのかたはこちら)

インターネットサービス

ログイン

- > 貸出状況一覧
- > 予約状況一覧
- > サービスについて

蔵書検索

キーワードを入力 検索

- > 詳細検索
- > 所蔵雑誌一覧

豊中市立図書館マップ

e-レファレンス

e-レファレンスをご活用ください

図書館のホームページから皆様のご質問をお受けするサービスです。回答はeメールでおこないます。図書館の開館時間を気にすることなく、調べものの依頼をお寄せいただけます。

ご利用の前に（ご案内）

- ◆ e-レファレンスでのご質問は、豊中市民および豊中市立図書館利用者カード*登録者の方に限ります。
- * このサービスの場合、広域利用者貸出券は含みません。
- ◆ ただし豊中市に関するご質問は、上記以外の方も含めてどなたからでもお受けしています。
- ◆ 質問を受けましたら、自動返信メールを送信します。
- ◆ 回答は原則一週間程度で返信します。しばらく経っても回答がない場合はお手数ですが、**回時図書館**参考室へお問い合わせください。質問の内容によっては回答が遅れることがあります。
- ◆ 著作権法上、資料のコピーをメール送信することはできません。
- ◆ 専門家の判断が必要な相談や、学習問題、クイズ等、内容により受付や回答ができない場合があります。
- ◆ 調査済みの資料がありましたら、「調査済み資料」欄にご記入ください。
- ◆ 申込まれたレファレンスは、個人が特定できないよう形に編集・加工し、レファレンス事例集に登録させていただきます。ご了承ください。
- ◆ 調べものの以外の、図書館に対するお問合わせ・ご要望はお受けできません。

[e-レファレンス申込み入力フォームはこちら](#)

<自宅から利用できる図書館サービス『e-レファレンス』>

取組み② アウトリーチ・非来館型サービス

8



<地域の施設での絵本の読み聞かせ（出前講座）>



<通所支援事業所への配本（えほん配達便）>



＜おはなしボランティア フォローアップ講座の様子＞



＜岐阜市立中央図書館『BookBook交歓会』の様子＞
（出典：同施設ホームページ）

構想に基づく進行管理

10

今後のスケジュール

令和4年度（2022年度）	● （仮称）中央図書館の候補地や事業手法を選定 ● 図書館の配置計画をまとめる
（この間）	● （仮称）中央図書館の設計、建設 ● 各施設の改修や再配置
令和10年（2028年）頃	● （仮称）中央図書館開館

構想に基づく進捗管理

- 3つの基本方針に対応する評価指標を設定し、進捗管理を実施
- コストについては市民一人あたりの図書館費を（仮称）中央図書館の開館にあわせて2,000円/人とする
- 一方で、サービス水準を維持向上するよう、利用や情報アクセスの支援、利用者満足度に関する指標を設定する

（仮称）中央図書館基本構想（素案）への意見募集

【意見募集期間】 令和3年（2021年）1月15日（金）～2月5日（金）

【構想の閲覧方法】 インターネット（豊中市ホームページ）のほか、
市政情報コーナー（豊中市役所本庁舎）や
各図書館にも設置（意見提出用紙と構想素案を設置）